

令和3年度大野市スポーツ推進計画策定委員会（第1回会議録）

● 日時 令和3年7月21日（水）午後7時～8時45分

● 会場 エキサイト広場総合体育施設 会議室

1 開会あいさつ（委員長）

2 議事

（1）大野市スポーツ推進計画の草案について【資料No.1】

⇒事務局から資料に基づき説明。

【委員長】 前回提示された骨子との整合性をとれた素案となっているか確認を進めていきたい。まずは計画の概要から確認したい。市の目指す将来像とは。

【事務局】 第6次大野市総合計画に位置付けられているものである。

【委員】 全体的に文字ばかりだと思う。誰向けに発行なのか。写真、イラストを入れたほうが、分かりやすいと思う。

【事務局】 スポーツ協会など組織もあるが、対象は市民である。今回は主に文章を見ていただきたいが、イラスト、グラフ等も入れていく思いである。

【委員】 途中で※印の括弧書きがあるがまとめて注釈を入れると良い。例えばSDGS等の表現にばらつきがあるので統一して入れたほうがよい。

【事務局】 最終的に用語解説も入れていく思いである。通常だと後に、用語解説をいれると良いのではと考えている。

【委員長】 アンケート結果などグラフで視覚化して示していくのは大事だと思う。見ている方は理解しやすい。これをみている方が、スポーツをしてみたいと思えるような内容にしていきたい。計画を基にリーフレットみたいなものは作成するのか。

【事務局】 概要版のようなリーフレットについてはもちろん必要となるであろうと考えている。

【委員】 本計画におけるスポーツとは、というところで、スポーツをみる、する、ささえるというのが何度も出てくるがこれは良いことだと思う。このままの計画案だと、することがスポーツだとよく登場してくるが、みることもスポーツなんだ、ということもふれてもらえると良いのではないかと思う。

【委員長】 スポーツをするためには、いろんなきっかけがあることは良いことだと思う。スポーツ参画人口の拡大を推進していくことに繋がっていくのだと思うが。実は、この後の記述でスポーツ参画人口の拡大に向けての具体的な施策の中に、みるというのがなかったりもする。整合性をとれると良い。

【事務局】 P11の基本目標の施策の中の、スポーツ参画のきっかけ作りの中で、みるということもふれておくと良いか。

【委員】将来像は、骨子にある目指す姿に先に取り組むことでつながっていくものだと思う。将来像実現に向けて推進計画のスポーツの目指す姿を先に出すと良いのではないか。将来像は結果であるので、目指す姿が大事なのでは。目標値のスポーツ人口の50%の中に、みるスポーツも含めるのか。

【事務局】50%の中には、みるスポーツはいれていない。みるスポーツを入れるともっと増えると思う。工夫が必要かと思う。目指すべき姿の順番を変えて分かりやすい構成をしたい。目指す姿を早い段階にもってくるようにしたい。

【委員長】3の策定の方向性において、「みる」がないので文書を精査した方が良い。基本目標のスポーツ参画人口の拡大において、「みる」楽しみを含めると良い。「する」はつらい苦しみに耐える、「みる」は楽しめる機会である。

【委員】「支える」は「ささえる」で平仮名に統一した方が良い。どの見るかも意味があると思うので、する、みる、ささえるは、全部平仮名にした方が良いと思う。

【委員】令和3年で「57回目の開催となる越前大野名水マラソン」の表記があるがコロナで中止となったがオンラインの部は開催された。また「東京2020オリンピックの開催延期」となっている部分も、今まさに開催されているので、この計画の策定期を考えて、表現を変えた方が良い。書くのか書かないのかも考えた方が良いのでは。

【事務局】4の目指すべき姿は文章量も多く、前段へもっていくことも考えたい。名水マラソンも令和3年という違和感があるため検討したい。例年だと4000人の規模なので表現を考えたい。

【委員長】3の策定の方向性における、(1)スポーツ参画人口の拡大を推進しますともあるが、ここで方向性を示していくのか。

【事務局】方向性を示していくこととなる。確認するために細かい内容を上げてはいるが4つの方向性が長い文章となっているため精査する必要もある。方向性は大きい括弧書きのみにしておきシンプルにして、その後の施策の中で具体的な内容を挙げていくと良いのかとも思っている。

【委員長】ここにも、みる、がないので入れていただくと良い。

【委員】8の施策の展開の中で、競争意識という言葉があるが、争っているニュアンスがあるがいかがか。

【事務局】楽しさの中に競い合う心のようなやわらかい言葉で、向上心などで検討したい。

【委員】障がい者のスポーツ活動の推進においては、簡単なようで難しい。関わりが持てる団体の育成、世代を超えた交流があると良い。

【事務局】関係課とのすり合わせを行いたい。

【委員長】基本目標2の介護予防等に向けた取り組みの展開において、フレイル防止に取り組むことから、認知症は「予防できる」ニュアンスを取り入れるとよい。

【委員】5の数値目標は、基本目標に含まれるか。数値目標を特出しせず、目指す数値にした方が良いのでは。

【委員長】目標数値は骨子にあるものは全部あげていくのか。

【事務局】数値目標は別立てせずに、目標の中で、それぞれの目標に見合った目標数値をあ

げていくことは可能であると思う。骨子にある指導者数もいれていきたい。

【委員】基本目標に数値があるものとないものがある。把握している数値だけ目標として出せるのか。

【事務局】指導者数においてはたとえば公認の指導者数は把握できると思う。新規で取得していく数は十分に把握できる。これから何人取得していく、という数値は設定できると思う。

骨子の中にいれたのは、今から部活動が地域に還元された場合に、指導体制が整っていないと地域として受け入れられないと思う。学校としてもある程度の知識を持った人でないと任せられない。まだまだ擦り合わせしていかないといけない部分はあるが、行政としては有資格者を増やしていくことがひとつである。個人で受けるのか、総合型で受けるのか、スポ少で受けるのか、競技団体で受けるのかはいろいろあると思うが、将来の情勢として中学校部活が地域へ還元しようとする準備のひとつとして動いていかないといけない、という意味合いがある。

【委員】目標という言葉が2つでてくる。骨子はうまく基本目標と成果指標としている。数値的なものは指標。成果指標は行政として進捗をはかるもので必要である。計画と骨子を揃えていただく。基本目標を達成するためにこの数字を追っていく。数値目標に、「市民一人当たりの体育施設利用者数」とあるが施設の定義が必要なのでは。成人の定義も明示したほうが良い。10年経つと人口も減るので、丁寧な現状把握が必要なのでは。

【事務局】具体的に体育施設は、エキサイト広場、B&G、学校開放など把握出来る数字である。しっかりと説明したい。また、一人あたりの利用回数だと人口が減っても施策としては、指数に見合うのではと考えた数値としている。

【委員】そこを丁寧に説明を入れていくと良い。

【委員長】3の策定の方向性と、6の基本目標をうまく整合させられるよう精査していただきたい。

【事務局】3の策定の方向性と、6の基本目標をまとめて、それに沿った施策をあげていきたい。

3 その他

(1) 計画策定までの委員会スケジュール（予定）について

本日いただいたご意見を修正し委員長にも確認いただいた上で、委員の皆様にも提示させていただきたい。